

厳しい寒さが続き、天気予報の最高気温を見ては一喜一憂してしまっていますが、早朝から昼夜問わずご活躍の先生にはなおさがつらい季節ではないでしょうか。頭の下がる思いです。

さて、先生に支援をお願いしてから8か月がたちいよいよ支援卒業となりました。その間先生には1つ1つの問題に細かなところまでご指導いただきありがとうございました。主人ともども感謝申し上げます。

息子は先生のコーチングを受けてから学校の行き渋りがなくなり、今日も学校に行っています。

私は今、毎朝明るい気持ちで家族を送り出し、そして子供たちの学校行事にも晴れ晴れとした気持ちで参加することができ、本当に幸せです。

思いおこせば9か月前、息子が中学生になりゴールデンウィークが終わった頃のことです。「学校に行きたくない」と言い出し、学校へ行き渋るようになりました。はじめのうちには私も「これが5月病か?」「学校に慣れてくれればなんとか

なるだろう」と考えていました。が、息子の行き渋りは日々はげしくなり、大声を上げ、壁を叩き、泣き泣きの登校。そして週1~2日休むという五月雨登校となっていました。

その時の息子はすべてマイナス思考で、「〇〇は嫌だからやりたくない」「友達に気を使うのに疲れた」などなど、人間として悩み越えていかねばならぬことをすべて否定し、投げ出そうとしていました。

私はそのような息子の姿に、もしこのまま学校に行けるようになったとしても、息子の性格ではまた同じようなことが起きるにちがいないと感じていました。と同時に、息子への対応の仕方に悩んでいた私は、水野先生に家庭教育を教えていただくことに決めました。


まず先生からは、「子供の話をきちんと聞き、共感し、気持ちにくんだうえで親の気持ち伝える」ことを教えていただきました。

今までの私は、〈子供への干渉 = 子供の自立をうばう
よくない対応〉という考えから、息子との会話は
とってないもので、何か問題が起きた時に

どう対応したらいいのかわからなくなっていました。
そんな私に先生は、〈干渉 = よくない対応〉ではない
ということ、そして子供への対応の仕方は一つではなく
柔軟にバランスよく選択していくことが大切と
教えて下さいました。型にはまった子育てから
なかなか抜け出せず^にいた私にとって、バランスを考^えての
干渉を理解することが難しくもありましたが、
答えが一つではないということ、肩の力が抜けたような
気がしました。そして息子との会話も、話を聞き、
気持ち^をくんだ^うえて私の気持ち^を伝えるように
したことで自然となり、笑い合えるようになりました。

また、夏休みの宿題のことで問題が起きた時には、
父親の叱り手としての立場を明確にしていだけ
ました。

何か問題が起きた時には、母親か、父親か、
もしくは家族会議をひらいて解決してゆくことなのか、
わかりやすく教えていただきました。これからも
さまざまな問題が起きるでしょうが、それを主人と
判断し、家族内で問題を解決していくよう
努力していきます。

最後になりましたが、先生、そしてスタッフの
皆様にも たいへんお世話になり ありがとう
ございました。 水野先生との 最初のカウンセリングを
奇跡的な早さで 受けることができましたのも
スタッフの方々の おかげと感謝しております。
本当にありがとうございました。

まだしばらくは寒い日が続きそうですが、
体調を崩されませんように、
皆様の ご健康、ご活躍を 心よりお祈り申し上げます。

2010年 2月15日

